

## 第5部

# 附属資料

策定経過

「上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の  
施策との主な相関関係

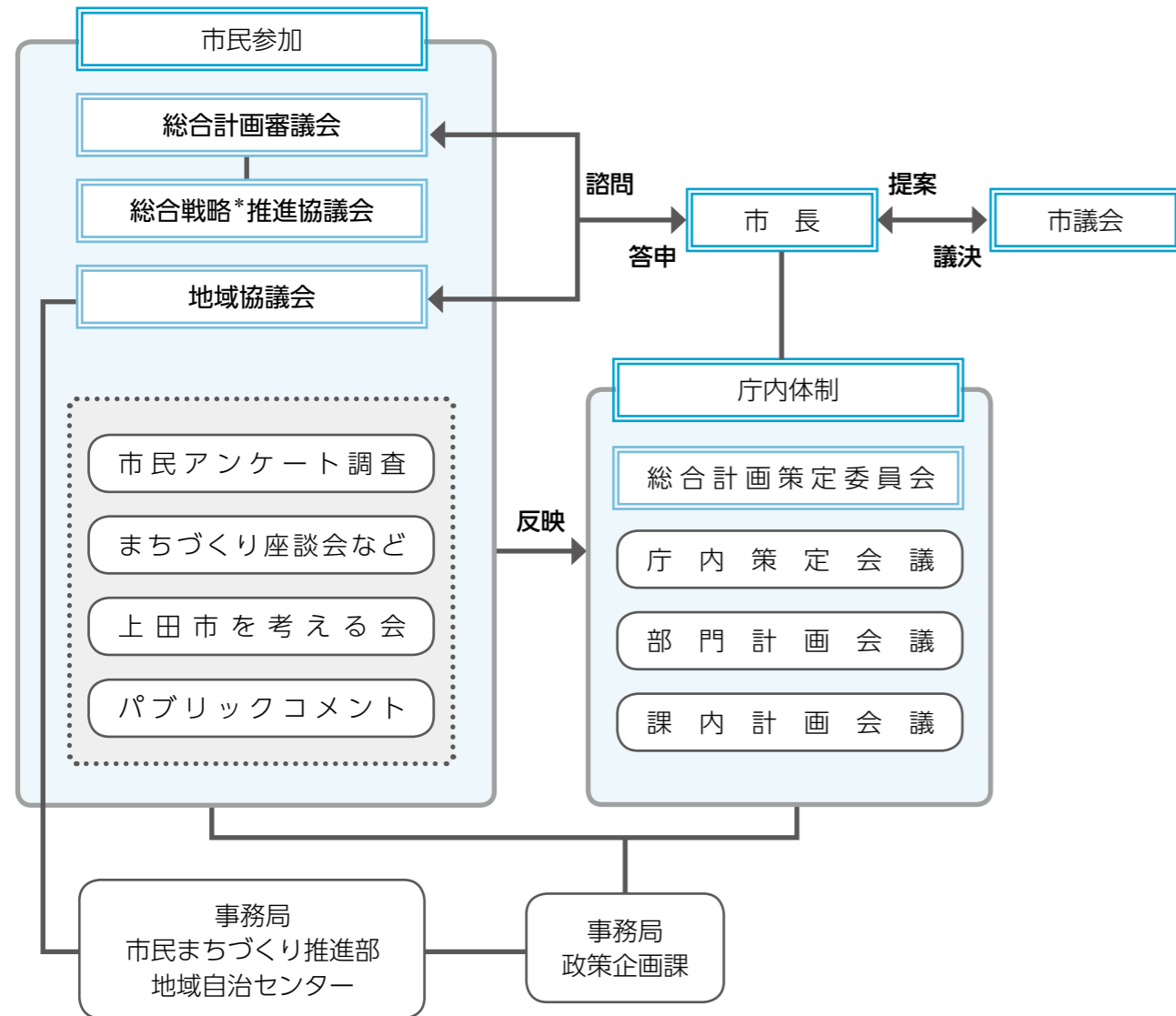
SDGs (持続可能な開発目標)との関係

(参考)関連する個別計画一覧

用語解説

# 策定経過

## 1 計画の策定体制



令和2年11月5日、上田市総合計画審議会(城下会長)から市長に答申



総合計画審議会全体会の様子

## 2 上田市総合計画審議会

### 構成

全体会	60人		
部会 (6部会)	行財政 (11人)	市民生活・環境 (12人)	産業経済 (13人)
	福祉健康 (12人)	教育文化 (12人)	総合戦略* (11人) <sup>※1</sup>

### 審議内容

年	月	全体会	部会
令和元	10	第1回 ・諮問 ・策定方針 ・審議会運営方針、スケジュール	第1回 ・各部会の検討範囲
	11	第2回 ・市民アンケート調査結果報告 ・主な社会指標 ・市の現状と将来ビジョン	第2回 <sup>※2</sup> ・前期まちづくり計画の検証 ・後期まちづくり計画の方向性
	12		第3回 ・分野別意見聴取 ・後期まちづくり計画(素案)
令和2	1		第4回 ・分野別意見聴取 ・後期まちづくり計画(素案)
	2	第3回 ・中間答申(案) ・後期まちづくり計画(案) ・重点プロジェクト(案) ・総合戦略、SDGs*	第5回 ・後期まちづくり計画(案)
	3	中間答申「後期まちづくり計画(案)」 <sup>※3</sup>	
	4 ~ 9	(新型コロナウイルス感染症対策により中断)	
	10		第6回 ・市民意見の反映及び対応 ・後期まちづくり計画(案)
	11	第4回 <sup>※3</sup> ・最終答申(案)	最終答申「後期まちづくり計画(案)」 <sup>※3</sup>

※1 他部会との兼務。総合戦略部会は令和2年7月に総合戦略推進協議会とあわせて開催

※2 市民生活・環境部会は令和元年11月に1回追加で開催

※3 正副会長及び正副部会長が代表して出席

### 3 総合計画策定における市民参加などの状況

市民アンケート調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆調査期間                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年7月1日～7月23日（配布方法:郵送、回収方法:郵送又はWEB）</li> </ul> </li> <li>◆調査対象                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・18歳以上の市民から無作為に抽出した5,000人（回収率38.3%）</li> </ul> </li> <li>◆内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・上田市の住みやすさ、施策の重要度・満足度、子育て支援など</li> </ul> </li> </ul>
まちづくり座談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆開催時期                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年7月～8月（2回）</li> </ul> </li> <li>◆内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・若者や女性との意見交換（上田未来会議と連携）</li> </ul> </li> </ul>
持続可能な上田を考える会*	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆開催時期                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年10月～令和2年10月（4回）</li> </ul> </li> <li>◆内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少、SDGs*、先端技術活用などについて講演など</li> </ul> </li> </ul>
「上田市の未来を語る」高校生と市長との懇談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆開催時期                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年11月～令和2年1月（市内6校）</li> </ul> </li> <li>◆内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生との意見交換</li> </ul> </li> </ul>
分野別意見聴取	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆開催時期                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年12月～令和2年1月（11団体）</li> </ul> </li> <li>◆内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・各部会場で市民団体との意見交換</li> </ul> </li> </ul>
パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆募集期間                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年4月16日～5月15日（広報、ホームページなど）</li> </ul> </li> <li>◆内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期まちづくり計画（案）に対する意見</li> </ul> </li> </ul>
特集番組（行政チャンネル、YouTube）	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆放送期間                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年7月2日～8日、23日～29日（行政チャンネル）</li> <li>・令和2年7月2日～（YouTube）</li> </ul> </li> <li>◆内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期まちづくり計画（案）の概要説明</li> </ul> </li> </ul>
各種団体代表者との意見交換会「上田市を考える会」	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆開催時期                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年7月（市内2会場）</li> </ul> </li> <li>◆内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期まちづくり計画（案）に対する意見</li> </ul> </li> </ul>

※主催…NPO法人上田市民エネルギー、（一社）自然エネルギー共同設置推進機構（NECO） 共催…上田市



まちづくり座談会（上田未来会議）の様子



「上田市を考える会」の様子

### 4 上田市総合計画審議会委員名簿

（敬称略、順不同、所属など名称は就任当時のもの）

#### 上田市総合計画審議会 全体会

会長 城下 敦子 元上田市教育委員長  
副会長 中村 彰 上田市自治会連合会会長

#### 上田市総合計画審議会 部会

（◎:部会長、○:副部会長）

##### 行財政部会

◎山極 一雄	上田市地域協議会正副会長会長
○浦部 秀幸	学識経験者
安藤 健二	上田市多文化共生推進協会副会長
小熊 弘子	上田人権擁護委員協議会委員
小駒 はるみ	上田市地域情報化推進委員会委員
小池 文彦	上田信用金庫理事長
重野 靖	長野県上田地域振興局企画振興課長（令和2年3月まで）
甘利 善一	長野県上田地域振興局企画振興課長（令和2年4月から）
中村 彰	上田市自治会連合会会長
増澤 延男	前第二次上田市総合計画審議会会長
間藤 まりの	真田ゆめぐるproject代表
丸山 理英子	上田市行財政改革推進委員会委員

##### 市民生活・環境部会

◎樋口 盛光	（公社）長野県宅地建物取引業協会上田支部支部長
○関川 久子	上田市ごみ減量アドバイザーリーダー
内堀 敏高	上田市自治会連合会副会長
岡田 忠夫	しなの鉄道㈱専務取締役
高橋 伸英	信州大学繊維学部化学・材料学科教授
田中 利喜夫	上田市上下水道審議会会長
藤川 まゆみ	NPO法人上田市民エネルギー理事長
水出 秀子	地域交通安全活動推進委員
宮入 一枝	上小防犯協会連合会女性部相談役
宮下 勝久	上田市防災支援協会相談役
宮島 博仁	上田信用金庫地域活性化チーム業務部副部長
矢島 昭徳	上田市消防団団長

## 産業経済部会

◎宮下 正明	上田市商工会工業部会部会長
○和田 宏一	信州うえだ農業協同組合営農部長
今井 慎一郎	長野県旅館組合上小支部支部長
岡崎 美都里	岡崎酒造(株)杜氏
熊谷 圭介	長野大学環境ツーリズム学部教授
高木 奈津子	(株)はたらクリエイト取締役COO
高野 松宣	上小労働者福祉協議会事務局長(令和2年3月まで)
竹内 光一	上小労働者福祉協議会事務局長(令和2年4月から)
田島 裕志	上小林業振興会事務局長
花岡 欣二	上田公共職業安定所所長
宮坂 文子	上田地産地消推進会議副会長
宮島 真弓	公募委員
柳島 隆二	上田市商店会連合会会長
山崎 孝子	上田商工会議所女性会会長

## 福祉健康部会

◎宮之上 孝司	(社福)上田市社会福祉協議会会長
○酒井 真由子	上田女子短期大学幼児教育学科准教授
飯島 俊勝	上田市私立保育園・認定こども園協会会長
春日 晋	上田市介護保険指定居宅介護支援事業者連絡協議会会長
熊井 健二	八十二銀行上田支店副支店長
小池 純子	スマイルマムネットUEDA代表
佐藤 永寿子	上小圏域障害者総合支援センター副所長
高柳 静	上田市健康推進委員会会長(令和2年3月まで)
飯島 真喜子	上田市健康推進委員会会長(令和2年4月から)
田畑 裕康	上田市自治会連合会副会長(令和2年3月まで)
吉池 正敏	上田市自治会連合会副会長(令和2年4月から)
鳥羽 泰之	(一社)上田市医師会理事
宮本 恵美	NPO法人さなだスポーツクラブクラブマネージャー
母袋 卓郎	(株)上田ケーブルビジョン代表取締役社長

## 教育文化部会

◎中澤 武	明海大学・長野大学等非常勤講師
○犂山 永子	元上田市社会教育委員
荒川 玲子	NPO法人うえだミックススポーツクラブ代表理事
坂口 純一	上田市子ども会育成連絡協議会副会長
城下 敦子	元上田市教育委員長
高見澤 津久美	上田市校長会川西小学校長
滝沢 博俊	丸子文化協会会長
竹田 貴一	上田市文化芸術協会会長
中澤 照夫	上田市自治会連合会副会長(令和2年3月まで)
西島 義一	上田市自治会連合会副会長(令和2年4月から)
原 有紀	NPO法人UFM副理事長
古田 睦美	長野大学環境ツーリズム学部学部長
間島 博徳	東信美術会会長

## 総合戦略\*部会(兼務)

岡崎 美都里	岡崎酒造(株)杜氏
熊井 健二	八十二銀行上田支店副支店長
重野 靖	長野県上田地域振興局企画振興課長(令和2年3月まで)
甘利 善一	長野県上田地域振興局企画振興課長(令和2年4月から)
高野 松宣	上小労働者福祉協議会事務局長(令和2年3月まで)
竹内 光一	上小労働者福祉協議会事務局長(令和2年4月から)
花岡 欣二	上田公共職業安定所所長
原 有紀	NPO法人UFM副理事長
藤川 まゆみ	NPO法人上田市民エネルギー理事長
古田 睦美	長野大学環境ツーリズム学部学部長
増澤 延男	前第二次上田市総合計画審議会会長
宮島 博仁	上田信用金庫地域活性化チーム業務部副部長
母袋 卓郎	(株)上田ケーブルビジョン代表取締役社長



# SDGs (持続可能な開発目標) との関係

## ～各分野が関連する主なSDGs\*のゴール～

「第二次上田市総合計画 後期まちづくり計画」(編-章-節)		1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	
1 自治・協働・行政 【市民が主役のまちづくり】	1 自治の推進による活力ある自立した地域社会の実現			○	○	○					○	○		○				○	
	2 地域内分権による地域の自治の推進			○							○	○		○				○	
	1 一人ひとりの人権が尊重される社会の実現				○	○					○	○					○	○	
	2 女性が男性が互いに尊重しあい、個性と能力を充分発揮できる社会の実現				○	○					○	○						○	○
	3 外国籍市民の自立と社会参加による多文化共生社会の実現	○	○	○	○	○					○	○							○
	3 地方分権にふさわしい行政経営				○					○			○					○	○
2 自然・生活環境 【安全・安心な快適環境のまちづくり】	1 豊かな環境を未来につなぐ			○			○	○			○	○			○	○		○	
	2 循環型社会形成の推進																		
	3 地球温暖化防止対策と再生可能エネルギーの活用																		
	1 賑わいと交流のまちづくりに向けた道路網の整備・促進		○						○		○							○	
	2 「乗って残す」「乗って生かす」を基本とした公共交通の活性化			○							○							○	
	3 安全・安心に暮らせる環境の整備		○	○								○						○	
	4 緑豊かな魅力ある都市環境の創出																	○	
	5 安定した経営による上水道・下水道事業の継続																		
	6 犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進			○														○	○
	7 地域防災力の向上と災害対応能力の強化	○		○							○	○						○	○
3 産業・経済 【誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり】	1 次代へつなぐ農林水産業の振興		○		○			○				○						○	
	2 農業の安定的な生産体制の整備と産地化の推進		○														○	○	
	3 森林の適切な経営管理と地域産木材の利用推進																	○	
	2 新しい価値を創造する商工・サービス業の振興		○		○	○												○	
	3 賑わいと活力ある商業の振興																	○	
	4 安心して働ける環境づくりと就業支援										○							○	
	3 魅力ある観光地づくり		○									○	○					○	
4 健康・福祉 【ともに支え合い健やかに暮らせるまちづくり】	1 自分らしい豊かな人生を送る健康づくり		○	○	○													○	
	2 安心して医療が受けられる環境づくり			○	○													○	
	3 高齢者がいきいきと安心して暮らせる仕組みづくり	○		○														○	
	2 支え助け合う地域社会をつくる		○	○	○						○	○						○	
	3 社会保障制度の適正な運用による福祉の増進		○	○	○													○	
	3 子どもが健やかに育ち、子育ての喜び・楽しさが感じられるまちづくり		○	○	○	○	○											○	
5 教育 【生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり】	1 次代を担う人づくり		○	○	○	○					○		○					○	
	2 高等教育機関との連携による地域の魅力や活力の向上																	○	
	2 新しい時代を拓く生涯学習環境の整備										○	○						○	
	2 生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備			○	○	○						○						○	
6 文化・交流・連携 【文化を育み、交流と連携で風格漂う魅力あるまちづくり】	1 多彩な文化芸術の継承と創造				○													○	
	2 育成を基本理念とした文化芸術活動への支援と文化創造				○													○	
	2 交流・連携、移住・定住促進による活力ある都市づくり		○								○	○						○	
	2 交流・連携促進による地域の活性化				○													○	

# (参考) 関連する個別計画一覧

(令和3年4月時点での掲載)

編一章一節	(参考) 関連する個別計画	期間 (年度)
1-1-1 参加と協働による自治の推進	上田市協働のまちづくり指針	R2-R6
1-1-2 地域内分権による地域の自治の推進		
1-2-1 一人ひとりの人権が尊重される社会の実現	上田市人権施策基本方針(第1次改訂)	
1-2-2 女性と男性が互いに尊重しあい、個性と能力を充分発揮できる社会の実現	第3次上田市男女共同参画計画	H29-R3
1-2-3 外国籍市民の自立と社会参加による多文化共生社会の実現	上田市多文化共生のまちづくり推進指針	
	上田市多文化共生のまちづくり推進計画	H19-
1-3-1 行財政改革の推進と住民サービスの充実	第四次上田市行財政改革大綱	R3-R7
	上田市公共施設白書	
	上田市公共施設マネジメント基本方針	H28-R7
	上田市民間活力導入指針	
	上田市スマートシティ化推進計画	R3-R7
1-3-2 市民と行政との情報共有の推進		
2-1-1 豊かな自然環境の保全と活用	第二次上田市環境基本計画	H30-R9
	上田市森林整備計画	R元-R10
2-1-2 循環型社会形成の推進	上田地域広域連合ごみ処理広域化計画	R3-R12
	上田市ごみ処理基本計画	H30-R9
	上田市ごみ減量アクションプラン	H30-R4
	生ごみリサイクル推進プラン	R2-
	上田市生活排水処理基本計画	R3-R12
2-1-3 地球温暖化防止対策と再生可能エネルギーの利活用の推進	第二次上田市環境基本計画	H30-R9
	上田市地球温暖化対策地域推進計画	R3-R9
	エコオフィスうえだ (第四次上田市役所地球温暖化防止実行計画)	H30-R5
2-2-1 賑わいと交流のまちづくりに向けた道路網の整備・促進	上田地域広域連合広域計画 (上田地域広域幹線道路網 構想・計画)	H30-R4
2-2-2 「乗って残す」「乗って生かす」を基本とした公共交通の活性化	上田市地域公共交通網形成計画 (上田市地域公共交通計画)	H28-R2
2-2-3 安全・安心に暮らせる環境の整備	国土利用計画 第二次上田市計画	H28-R7
	上田市都市計画マスタープラン	H22-R12
	上田市立地適正化計画	H27-R17
	上田市空家等対策計画	H30-R7
2-2-4 緑豊かな魅力ある都市環境の創出	上田市緑の基本計画	H31-R12
	上田市景観計画	H25.3-
2-2-5 安定した経営による上水道・下水道事業の継続	上田市上下水道事業経営戦略(改訂版)	R2-R11
	上田市水道ビジョン	R元-R10
	上田市下水道ビジョン	R元-R10
	上田市「水循環・資源循環のみち2015」構想	H27-R12
2-2-6 犯罪や交通事故のないまちづくりと消費者被害防止の推進		
2-2-7 地域防災力の向上と災害対応能力の強化	上田市地域防災計画	
3-1-1 地産地消の推進と都市農村交流による活性化	上田市地産地消推進基本計画	R3-R7
3-1-2 農業の安定的な生産体制の整備と産地化の推進	上田市6次産業化等に関する戦略	H29.10-R4.9
3-1-3 森林の適切な経営管理と地域産木材の利用推進	上田市森林整備計画	R元-R10
	上田市鳥獣被害防止計画	R2-R4
3-2-1 新しい産業の創出と中小企業者の経営力強化	上田市商工業振興プラン	H30-R4

編一章一節	(参考) 関連する個別計画	期間 (年度)
3-2-2 地域経済を牽引する工業(ものづくり産業)の振興	上田市商工業振興プラン	H30-R4
	東信州次世代イノベーションプラン	H30-R4
	長野県上田地域基本計画	H30-R4
3-2-3 賑わいと活力ある商業の振興	上田市商工業振興プラン	H30-R4
3-2-4 安心して働ける環境づくりと就業支援	上田市商工業振興プラン	H30-R4
	第3次上田市男女共同参画計画	H29-R3
	第8期上田市高齢者福祉総合計画	R3-R5
	第2次上田市子ども・子育て支援事業計画	R2-R6
	第3次上田市地域福祉計画	H30-R5
	第3次上田市障がい者基本計画	R3-R8
3-3-1 おもてなしで迎える観光の振興	第3期上田市教育支援プラン	R3-R7
4-1-1 健幸都市を目指した健康づくり事業の推進	第三次上田市民健康づくり計画	H30-R5
	第2次上田市食育推進計画	H30-R5
	第1期上田市自殺対策計画	R元-R5
4-1-2 安心して医療が受けられる環境づくり		
4-1-3 高齢者がいきいきと安心して暮らせる仕組みづくり	第8期上田市高齢者福祉総合計画	R3-R5
4-2-1 共生社会の実現を目指す障がい者支援の充実	第3次上田市障がい者基本計画	R3-R8
	第6期上田市障がい福祉計画 第2期上田市障がい児福祉計画	R3-R5
4-2-2 住民自らで支える地域福祉力の充実・強化	第3次上田市地域福祉計画	H30-R5
4-2-3 社会保障制度の適正な運用による福祉の増進	上田市国民健康保険 第2期保健事業実施計画(データヘルス計画) 第3期特定健康診査等実施計画	H30-R5
4-3-1 出産・子育てしやすい環境の実現	第三次上田市民健康づくり計画 第2次上田市子ども・子育て支援事業計画	H30-R5 R2-R6
4-3-2 多様なニーズに応えるきめ細やかな子育て支援の充実	第2次上田市子ども・子育て支援事業計画	R2-R6
	上田市保育施設整備計画	H30-R7
5-1-1 教育環境の整備と地域ぐるみの教育推進	第3期上田市教育支援プラン	R3-R7
	第2次上田市子ども・子育て支援事業計画	R2-R6
	第二次上田市生涯学習基本構想 上田市人権施策基本方針(第1次改訂)	H28-R7
5-1-2 高等教育機関との連携による地域の魅力や活力の向上	公立大学法人長野大学中期目標	H29-R4
5-2-1 生涯学習の推進と学習環境の整備	第二次上田市生涯学習基本構想 第二次上田市図書館基本構想	H28-R7 H29-R7
5-2-2 生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備	第二次上田市スポーツ推進計画 上田市スポーツ施設整備基本構想・整備計画	R3-R12 H30-R9
6-1-1 文化遺産の継承と活用	第二次上田市文化芸術振興に関する基本構想	H28-R7
	上田市歴史文化基本構想	H30-
6-1-2 育成を基本理念とした文化芸術活動への支援と文化創造	第二次上田市文化芸術振興に関する基本構想	H28-R7
6-2-1 上田の魅力発信、選ばれる都市づくり		
6-2-2 交流・連携促進による地域の活性化	第2次上田地域定住自立圏共生ビジョン	H29-R3

## あ行

- 赤ちゃんステーション(p120,121)**……乳幼児を連れて保護者が、外出中に授乳やおむつ替えなどに立ち寄ることができるスペース
- アクセシビリティ(p49,115)**……年齢や障がいの有無に関わらず、誰でも必要とする情報や施設などに簡単にたどり着け、利用できること。
- アニメツーリズム(p101)**……アニメやマンガのファンに、作品の舞台となった地域を訪れてもらう旅行スタイル
- 生きる力(p25,31,129,130,131)**……変化の激しいこれからの社会を生きるために、児童生徒が自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え判断して行動し、未来を切り拓く力
- 一本算定(p16,47)**……普通交付税の合併算定替制度の算定方法のことで、市町村合併後、当面は行政運営に係る経費の激激な節減が困難であることを考慮し、一定期間、合併市町村の普通交付税額が、合併しなかったと仮定した場合に算定される関係市町村の普通交付税額の合算額を下回らないようにする特例が、合併後15年を経過した段階で新市町村による算定となること。
- インクルーシブ教育(p129)**……障がいの有無に関わらず共に学ぶ仕組み
- インバウンド(p8,100,102,141,158)**……訪日外国人旅行
- インフルエンサー(p101)**……多くの人々に影響を及ぼす人物
- ウイズコロナ(p7)**……新型コロナウイルスが撲滅困難であることを前提とした新たな戦略や生活様式のこと。
- 上田市産学官連携支援施設(AREC)(p93,94)**……信州大学の研究者と企業との共同研究開発を通し、地域に新しい技術や産業を生み出すことを目的とした施設
- 上田市体育協会(p137)**……加盟競技団体の取りまとめや、市との連携・協働によるスポーツ大会の開催、スポーツ少年団の活動支援など、市民の体力・健康・競技力向上とスポーツ精神の高揚を図る活動を行う団体。長野県スポーツ協会の加盟団体としての活動も行う。

- 上田地域30分(サンマル)交通圏(p63,64,157)**……上田市、東御市、長和町、坂城町、青木村の中心部から、上信越自動車道の最寄りのインターチェンジや上田駅へ、おおむね30分以内で結ばれるよう道路網を整備する構想
- 美味(おい)だれやきとり(p101)**……すりおろしにんにくなどが入った醤油ベースのたれをかけた焼き鳥で、たれは店ごとにこだわりの味となっている。「美味だれ焼き鳥」、「美味だれ」は上田市登録商標
- 欧米豪(p102)**……欧州、北米、豪州のこと。
- オープンデータ(p48,49,50)**……施設情報、防災情報、統計情報など、行政が保有する様々なデータ(個人情報など公開できないデータを除く)を編集や加工などの二次利用可能な利用しやすい形式で公開する取組のこと。
- オーラルフレイル(p108)**……「オーラル」は「口腔」、「フレイル」は「虚弱」を意味し、健康と機能障害の中間にあり、食べこぼす、噛めない食品が増える、むせる、口が渇く、滑舌が悪くなるなど、口腔機能が衰える状態

## か行

- 外国人集住都市会議(p43,44)**……外国人に係る施策や活動を進めている都市及び同地域の国際交流協会により組織される団体で、情報交換を行いながら、外国人住民に関する課題解決に積極的に取り組むことを目的として、平成13年5月に設立された。国・県及び関係機関への提言や会員都市間で連携した取組を行っている。
- 関係人口(p144,145)**……特定の地域と継続的に交流する都市住民など。転勤でその地域に住んだことがある人や、都会へ移り住んだ地域出身者のほか、災害ボランティアなどを契機に関係を深めるケースがある。
- 観光旅タクシー(p101)**……旅行先でタクシーを利用して地元ならではの見所をドライバーが案内して巡る小旅行
- 基幹的農業従事者(p86)**……普段の就業状態が「主に農業」である者
- 企業メセナ(p142,143)**……企業が文化・芸術に対する資金などの支援

- キャリア教育(p97,99,129)**……一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方の実現を促す教育
- 教育再生首長会議(p147)**……国が進める教育改革のもと、「教育再生こそ地域の再生、日本再生の根本」という認識を同じくする全国の首長による会議で、当市は平成27年4月に加入
- 教育ファーム(p31,85)**……小学生とその保護者を対象とした自然の恩恵や食に関わる人々の様々な活動への理解を深めることなどを目的として、生産者の指導を受けながら一連の農作業などの体験の機会を提供する取組
- 郷学郷就(p99)**……大学などにおける教育の充実や地域企業と連携した人材育成、地域で学び働くこと。
- 拠点集約型都市(p67,68,70)**……都市機能の集約を促進する拠点として複数を位置付け、それぞれを公共交通などのネットワークで連携した都市
- 銀座NAGANO(p102)**……信州の特産品の販売ショップ、観光情報センター、コワーキングスペースなど、信州のコト、ヒト、モノをトータルに発信する拠点施設。コアな信州ファンを増やし、信州の魅力をまるごと共有(シェア)するために、長野県が平成26年度に銀座に開設
- 近代化産業遺産(p101)**……全国各地の産業近代化の過程を物語る建築物、機械、文書などの歴史的価値を顕在化させ、地域の活性化に役立てることを目的として、平成19、20年度に経済産業省が公表したもの。市では製糸関連遺産として、信州大学繊維学部講堂、上田蚕種(株)の事務棟、笠原工業(株)の倉庫、繭倉などが挙げられる。
- クラインガルテン(p85,145,154)**……滞在型(宿泊施設)の市民農園
- グリーンベルト(p69)**……歩道が整備されていない通学路などにおいて、視覚的に歩行空間を明確にするため、路肩部分を緑色にする取組
- 下水道普及率(p73)**……下水道整備計画対象区域内における人口と整備済み人口の比率

- 健幸(p6,25,28,29,30,108)**……健康で幸せなこと。身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安全・安心で豊かな生活を送れること。
- 健幸都市(p20,66,68,106,147,157)**……人口減少・少子高齢化が急速に進む中、高齢になっても地域で元気に暮らせる社会を実現するために、身体面の健康だけでなく、人々が生きがいを感じ、安全・安心で豊かな生活を営むことができるまち(スマートウェルネスシティ)
- 公共私(p9,29,45)**……行政のほか、コミュニティ組織、NPO、企業などの多様な主体
- 合計特殊出生率(p26,120,126)**……15~49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、ひとりの女性がその年齢別出生率で一生の間に産むとしたときの子どもの数の平均
- 心の教室相談員(p129)**……児童生徒が抱える様々な悩みなどの相談を受け、積極的にかかわりを持ちながら悩みやストレスの解消を図る相談員
- 子育て世代包括支援センター(p121)**……主に妊産婦及び乳幼児の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ、支援プランの策定や、地域の保健医療や福祉に関する機関との連絡調整を行い、母子保健施策と子育て支援策との一体的な提供を通し、妊産婦及び乳幼児の健康の保持・増進に関する包括的な支援を行う機関
- 子ども家庭総合支援拠点(p123)**……すべての子ども(と家庭及び妊産婦)などの課題に対し、子ども支援の専門性・人的資源を組織・ネットワーク化し、相談・ソーシャルワーク(生活しやすい社会や仕組みを構築する)対応ができる拠点
- コミュニティスクール(p130,131)**……保護者や地域の皆さんの声を学校運営に直接反映させ、保護者・地域・学校・教育委員会が一体となって、より良い学校をつくり上げていくことを目指す。
- コワーキングスペース(p99)**……異なる職業や仕事を持った人たちが同じ場所に集まり、共有するオフィススペース。働く人がネットワークを使い、アイデアの創出など、相乗効果のあるコミュニティ・スペース



さ行

- 真田街道推進機構 (p102)** .....  
真田一族の歴史を生かし地域の観光振興を図ることを目的に、長野県及び群馬県の真田氏にゆかりのある13自治体で構成する組織
- サプライチェーン (p7)** .....  
製品の原材料・部品の調達から製造、在庫管理、配送、販売、消費までの全体の一連の流れのこと。
- ジェンダー格差 (p40)** .....  
男女の心の性の違いにより生じる様々な格差
- ジェンダーギャップ指数 (p40)** .....  
各国の社会進出における男女格差を示す指標。世界経済フォーラム (WEF) が毎年公表しているもので、経済活動や政治への参画度、教育水準、出生率や健康寿命など、4分野14項目における男女格差の状況を指数化し、国別に順位をつけたもの
- 自給的農家 (p86、87)** .....  
経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家
- 自助・共助・公助 (p77、116)** .....  
災害の被害を軽減するためには、個人や地域、公共機関などの様々な主体の連携による取組が重要  
「自助」…自分や家族を守る取組  
「共助」…地域や隣近所で助け合う取組  
「公助」…市町村や消防などによる取組
- 実質公債費比率 (p15、46、47、51)** .....  
一般会計などが負担している元利償還金に上下水道事業などの公営企業会計の公債費に充当された繰出金や、広域連合、一部事務組合などの公債費に係る負担金などの準元利償還金を加えた実質的な公債費が、地方公共団体の標準的な一般財源の規模に占める割合を過去3年間の平均値で示した指標のこと。
- シティブロモーション (p31、49、144、145、147)** .....  
地方自治体が行う「宣伝」、「広報」、「営業活動」などのことを指すが、明確な定義はなく、まちの魅力や認知度の向上を図り、交流人口や移住、定住人口の創出・拡大などを目指す取組のこと。

市内主要27河川 (BOD 環境基準値) (p55) .....

環境基準	河川名
2mg /L以下	神川、浦野川、産川、千曲川、依田川、矢出沢川、傍陽川、内村川、武石川
3mg /L以下	蛭沢川、室賀川、湯川、瀬沢川、常田川、塩川沢川、洗馬川、沼入沢、角間川、浅沢川、大明神沢、大洞川、大沢川、小沢根川、余里川、権兵衛川、横沢川、茂沢川

- ※「上田市公害防止条例施行規則」及び環境庁 (環境省) 告示「生活環境の保全に関する環境基準」の類型に基づく。
- しなの鉄道沿線観光協議会 (p102)** .....  
しなの鉄道沿線における観光情報の広報宣伝を目的に、沿線の自治体、経済団体、商工団体、農業団体、観光関係団体の7団体で構成する組織
- し尿前処理下水道投入施設 (p57、59)** .....  
し尿などから異物を取り除き下水道処理に適した水質に希釈した後、下水道へ投入する施設。下水道の整備が進んだ地域では、し尿の発生量が減少するため、下水道施設の効率的な運用面からも採用する自治体が増えている。
- ジビエ (p89、152)** .....  
狩猟で捕獲したシカなどの野生鳥獣の肉
- シビックプライド (p31、49、132、141、144、145、159)** .....  
「都市 (まち) に対する市民の誇り」であり、「ここをよりよい場所にするために自分自身が関わっている」という、当事者意識に基づく自負心を意味している。コミュニティが「人と人のつながり」であるのに対し、シビックプライドは、基本的には「人とまちのつながり」であり、郷土愛が源泉となる。
- 社会教育 (p4、37、38、134、135)** .....  
学校の教育課程として行われる教育活動を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動 (体育及びレクリエーションの活動を含む。)
- 周産期 (p31、109、110)** .....  
妊娠22週から出生後7日未満のこと。この時期は、合併症妊娠や分娩時の新生児仮死など、母体・胎児や新生児の生命に関わる事態が発生する可能性があることから、産科・小児科双方から母体・胎児や新生児を総合的に管理し、母と子の健康を守る必要がある。
- 小1プロブレム (p129)** .....  
小学校に入学したばかりの1年生の学級において「集団行動がとれない」、「授業中に座っていない」、「教員の話を受けない」などの状態が継続し、学級が機能しなくなる状態

- 生涯学習 (p12、13、25、31、72、113、133、134、135、145、151、155、156、157、158、159)** .....  
住民一人ひとりが生涯にわたって自主的、自発的に行うことを基本とした学習活動で、個人の自己学習や学校教育・社会教育を含めた多様な学習活動
- 生涯学習団体 (p135)** .....  
生涯学習活動を行うために、自主的に組織し運営を行う団体
- 上小医療圏地域医療再生計画 (p109、110)** .....  
上小地域の医療課題の解決を図り、5年後、10年後の地域医療のあるべき姿を示したもの。救急医療・周産期医療体制の確立、医師確保体制の構築及び地域医療連携の確立を施策の柱に、信州上田医療センター、信州大学医学部、医師会、県、地域の市町村などの関係機関が平成21年度から25年度まで取り組んだ。
- 上水道有収率 (p73、80)** .....  
「給水する水量」と「料金として収入のあった水量」との比率
- 小中学校30人規模学級編制 (p129)** .....  
きめ細やかな指導をするため、40人の学級編制基準を35人とし、概ね30人程度の学級編制とすること。
- 少人数学習集団編成 (p129)** .....  
習熟度に差が付きやすい教科において、30人以下の集団で授業を行うこと。
- 消防団サポート事業 (p78)** .....  
消防団員とその家族が店舗や公共施設などを利用する際、料金割引などのサービスが受けられる団員を応援するための事業
- 将来負担比率 (p15、46、51)** .....  
一般会計などが将来負担すべき実質的な負債 (公営企業会計、広域連合、一部事務組合及び第三セクターなどの債務も含む。) について、現時点でどの程度あるのかを標準財政規模に占める割合で指標化したもので、将来財政運営を圧迫する可能性の度合いを示したものの
- 食農教育 (p31、84、85)** .....  
「食」を支える農業や地域、自然との関わりに注目し、様々な形の農業活動を知ったり体験したりすることにより、農業が担う様々な価値を学んでもらうこと。
- 職場いきいきアドバンスカンパニー (p97、103)** .....  
仕事と家庭の両立ができる職場環境の改善や、多様な働き方の導入など、働きやすく働きがいのある職場の証として、長野県が認証する制度

- 自立相談支援事業 (p119)** .....  
生活困窮者からの相談を受け、就労その他自立に関する相談支援、事業利用のための支援プラン作成などを行い、ハローワークなど関係機関と連携し、包括的で継続的な自立支援を実施するもの
- 信州上田学 (p99、133)** .....  
持続可能な地域づくりと地域の未来を築く人づくりを目的とした、上田の魅力を知り探究する「学び」の総称
- 信州上田ふるさと先人館 (p141)** .....  
上田市ゆかりの先人・偉人の生涯や業績を紹介し、市民や子どもたちが郷土の歴史に理解を深め、愛着や誇りを醸成する場とする。また、観光客には市内回遊の拠点となることを目的に、令和2年6月に上小教育会館旧館内 (大手) に開設
- 森林経営計画等対象森林面積 (p89、103)** .....  
基準値は、森林所有者自ら又は森林組合などが委託を受けて森林経営計画の認定を受けた面積。計画目標には上記のほか、森林経営管理制度による経営管理権集積計画の面積を含む。
- 森林認証林 (p89、103)** .....  
上田市有林、上田市東御市真田共有財産組合有林、武石財産区有林及び上田市内の長野県営林のSGEC (一般社団法人緑の循環認証会議) 認証森林
- スカイランニング (p101)** .....  
「速さと軽さ」を追求した登山の形で、歩く、走る、跳ぶ、滑るなど、様々な要素を駆使しながら、美しい山岳などに挑むスピード登山
- スクールカウンセラー (p129)** .....  
児童生徒の生活上の問題や悩みの相談に応じるほか、教職員や保護者に対しても助言・指導ができる専門家
- スクールソーシャルワーカー (p129)** .....  
いじめ、暴力行為、児童虐待などの課題解決のため、教育分野のほか、社会福祉分野の知識・技術を用い、関係機関との連絡調整を行う専門家
- スマートウェルネスシティ構想 (p147)** .....  
歩くことを通して健康を維持し、食事、運動、教育、交通、住環境などと一体的な総合政策を推進し、住民が健康で元気に暮らせる新しい都市モデルの実現を目指すもの
- スマート農業 (p31、87)** .....  
ロボット技術や情報通信技術 (ICT) などの先端技術を活用し、省力化や高品質生産などを可能にする新たな農業

**総合型地域スポーツクラブ**

(p136、137、138、155)

身近な地域でスポーツに親しむことのできる新しいスポーツクラブで、子どもから高齢者まで(多世代)、様々なスポーツを愛好する人々が(多目的)、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)という特徴を持ち、近年は、スポーツを通じた地域づくりなど、多様な活動を展開し、地域住民により、自主的・主体的に運営されている。

**総合戦略**

まち・ひと・しごと創生総合戦略(総合戦略)参照

**ソーシャルスキルトレーニング(p115、129)**

自分の感情や考えの表現方法など、対人関係を良好に維持する技能を身に付け、より生活しやすくするためのトレーニング

**た行****大学発ベンチャー(p133)**

大学教員、研究者、学生が開発した技術や研究成果を用いて事業化する企業のこと。

**体組成(p107)**

体を構成する組織(脂肪、筋肉、骨、水分など)の体重に対する割合

**ダイバーシティ(p8、30、35、42)**

多様な人材を積極的に活用しようという考え

**脱炭素社会(p61、62)**

地球温暖化の原因と考えられている温室効果ガスである二酸化炭素などの排出量が実質的にゼロとなる社会のこと。

**地域おこし協力隊員(p52、145、148)**

人口減少・少子高齢化の進行が著しい地方において、一定期間、農業や観光、住民の生活支援など、地域の活動に協力してもらいながら、定住・定着を図るため、地方自治体が都市地域からの住民を受け入れ、会計年度任用職員として任用した者

**地域学校協働事業(p130)**

地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく活動の総称

**地域循環共生圏(p60)**

国が第5次環境基本計画で提唱した、各地域が美しい自然景観などの地域資源を最大限活用しながら自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じて資源を補完し支え合うことにより、地域の活力が最大限に発揮されることを目指す考え方

**地域包括ケアシステム(p111、114、153)**

高齢者が重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう、「住まい」、「医療」、「介護」、「予防」、「生活支援」が一体的に提供される体制

**千曲川ワインバレー特区連絡協議会(p102)**

上田市、小諸市、千曲市、東御市、立科町、青木村、長和町及び坂城町で構成するワインの生産振興、発展を目的とした団体

**地産外消(p84、85)**

農産物など、地元で生産したものを都市部などの他の地域で消費すること。

**中1ギャップ(p129)**

小学生から中学1年生に進学した時に、学習や生活の変化になじめずに不登校となったり、いじめが急増するという現象

**中間的就労(p99)**

本格的な就労に向けた準備の一環として、「日常生活」の自立や社会参加のために働くこと。

**デマンド交通(p66、153、159)**

運行形態が予約型である輸送サービスを指す。ただし、福祉輸送や特定施設の送迎サービスなどは含まない。

**テレワーク(p7、8、92)**

情報通信技術(ICT)を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方

**統合型GIS(p46)**

道路、街区、建物、河川などの地図情報を統合・電子化し、一元的に管理運用するシステム(地図情報システム)。位置情報を可視化しデータの共有化を図ることにより、高度な分析や迅速な判断が可能となる。

**特定健康診査(p107、118、125)**

日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までを対象としたメタボリックシンドローム(内臓脂肪)に着目した健康診査

**特定保健指導(p26、106、119、125)**

特定健康診査の結果、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善により予防効果が期待できる受診者を対象に行う保健指導。対象者が健康的な生活に自ら改善できるよう、専門家が様々な働きかけやアドバイスをを行い支援する。

**特別支援教育コーディネーター(p129)**

子どもの障がいに対する教職員の理解を高め、一人ひとりの子どものニーズに応じた教育を実施するために、各校内で中心となって校内研修の企画・運営や教育相談の窓口などの役割を担う人

**トレイルラン(p101)**

トレイルとは、未舗装路(林道、砂利道、登山道など)を意味し、場所の高低に関わらず、舗装されていない主に山などの自然の中を走ること。

**な行****日本遺産(Japan Heritage)**

(p31、140、141、145)

地域の歴史的魅力や特色を通し、我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定するもので、ストーリーを語る上で欠かせない魅力あふれる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、地域の活性化を図ることを目的としている。上田市は令和2年6月に「レイラインがつなぐ『太陽と大地の聖地』～龍と生きるまち信州上田・塩田平～」が認定された。

**認定農業者(p87)**

「農業経営基盤強化促進法」に基づく農業経営改善計画を作成し、市町村の認定を受けた者

**ネーミングライツ(p47)**

スポーツ施設や文化施設などに、企業名や商品名の愛称を付けることができる権利のことで、「命名権」とも呼ばれる。

**農商工観連携(p101)**

農業・商業・工業・観光業との相互連携により、新たな商品やサービスの開発・提供、販路の拡大に取り組むことで、地域の産業振興と活性化を図ること。

**農商工連携(p87、95、96)**

農山漁村の6次産業化の一つで、地域の特色ある農林水産物や美しい景観などの貴重な資源を有効に活用するため、農林漁業者と商工業者相互の「技術」や「ノウハウ」を持ち寄って、新しい商品やサービスの開発・提供、販路の拡大などに取り組むこと。

**農福連携(p87、114、115)**

農業分野での高齢化や後継者不足、福祉分野での障がいのある人の働く機会の確保と自立の促進といった課題を解決するための両分野での連携した取組

**農林業センサス(p86)**

農林業の生産構造などを明らかにするとともに、農山村の実態を把握し、農林行政の企画などのための資料を作成し、提供することを目的に、5年ごとに国が行う調査

**残さず食べよう! 30・10運動(p58、59)**

食品ロスの削減を目的に、飲食店などから出る廃棄物、とりわけ宴会時における食べ残しを減らす取組として、宴会の乾杯後30分間とお開き前の10分間は自席に着いて料理を楽しみ、余った料理は各自の責任において持ち帰るなど、食べ残しを減らすための運動

**は行****バイリンガル(p129)**

状況に応じて、2つの言語を自由に使う能力があること。また、その人

**東信州次世代イノベーションセンター(p94)**

10市町村で構成する東信州次世代産業振興協議会の事業推進組織。(一財)浅間リサーチエクステンションセンター内に事務局を置き、東信州地域内の市町村、商工団体、大学、支援機関、金融機関などで構成している。

**東信州次世代産業振興協議会(p94、99)**

東信州10市町村(上田市・小諸市・佐久市・千曲市・東御市・御代田町・立科町・長和町・青木村・坂城町)で構成された任意団体。地域内での次世代産業創出と地域内企業の競争力向上を図るための取組を推進している。

**人・農地プラン(p87)**

5年後、10年後の地域農業の維持・発展を見据えて各地域が抱える「人と農地の問題」の解決を図るため、地域の話し合いにより、「今後の地域の経営体」、「将来の農地利用のあり方」などをまとめたもので、市町村が作成する計画

**ファミリー・サポート・センター(p121)**

乳幼児や小学生などの児童を持つ子育て中の労働者や主婦などを会員として、「児童の預かりの援助を受けることを希望するか」と「当該援助を行うことを希望するか」との相互援助活動

**不育症(p110)**

妊娠はするが2回以上の流産・死産もしくは生後1週間以内に死亡する早期新生児死亡により、子を得られない場合をいう。

**プライマリーバランス (p47)**

国や地方自治体が、社会保障や公共事業に係る様々な行政サービスを提供するための経費（政策的経費）を、税金などで賄っているかを示す指標で、歳入総額から国債や地方債（借金）による収入を差し引いた金額と、歳出総額から公債費（元利償還金）などを差し引いた金額のバランス（基礎的財政収支）のことをいう。

**フレイル (p31, 112)**

加齢に伴い、身体や精神・心理面などの活動が低下した状態

**ぶれジョブ活動 (p114, 115)**

障がいのある児童生徒が、地域での職場体験を通し、社会性や自尊感情を向上させるとともに、地域における障がい者理解を促進し、共生社会の実現を目指す活動

**北陸新幹線停車駅都市観光推進会議 (p102)**

北陸新幹線を活用した広域的な観光振興を目的に、高崎から金沢まで北陸新幹線沿線の11自治体で構成する組織

**ほ場 (p87)**

農産物を育てる場所

**ポストコロナ (p7)**

世界的な新型コロナウイルスの感染拡大を境に、価値観や行動様式の転換が起き、社会に定着する期間を指す。

**ま行****マイナンバー制度 (p45, 46, 51)**

複数の機関に存在する個人の情報を同一人の情報であるということの確認を行うための社会基盤（インフラ）であり、「社会保障・税制度の効率性・透明性の確保」と「国民にとって利便性の高い公平・公正な社会の実現」に向け、国民一人ひとりに固有の番号を割り当てる制度

**まちなか空き店舗バンク (p96)**

空き店舗の所有者が、売りたい・貸したい物件を登録し、その情報を、空き店舗を利用したい人に紹介する制度

**まちなかキャンパスうえだ (p96, 133)**

大学間や地域と大学の連携拠点として、平成28年7月に上田市が海野町に開設。長野大学を中心に市内5大学など（信州大学、長野県工科大学短期大学校、上田女子短期大学、筑波大学山岳科学センター）が市民向け講座などを展開

**まち・ひと・しごと創生総合戦略（総合戦略）**

(p2, 6, 26, 51, 52, 81, 103, 104, 125, 126, 138, 148, 162, 163, 167, 168)

人口急減、超高齢化に的確に対応し、人口減少を抑えるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目的とした施策

**木質バイオマスエネルギー (p54, 55, 80)**

薪、木炭、チップ及びペレットなどの木材に由来する再生可能な資源

**モビリティ・ウェルネス・アグリビジネス (p94)**

モビリティは交通分野、ウェルネスは健康医療分野、アグリビジネスは農業分野を示す。

**や行****友愛訪問 (p117)**

高齢者世帯や障がい者世帯など見守りが必要な世帯の皆さんが、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、安否確認や話し相手など孤独感の解消を図るため、近隣の住民ボランティアが訪問すること。

**ユニバーサルデザイン (p68, 115)**

障がいの有無に関わらず、すべての人が快適に利用できるように製品や建造物、生活空間などをデザインすること。

**ら行****リカレント教育 (p99)**

生涯にわたり教育と就労を交互に繰り返すことにより、スキルを高め続ける教育制度

**6次産業化 (p26, 86, 87, 103, 153, 157, 158)**

第1次産業である農林水産物の生産だけにとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造・販売や観光農園のような地域資源を生かしたサービスなど、第2次産業や第3次産業にまで一体的に行う事業活動（1次×2次×3次＝6次）

**ロケツーリズム (p101)**

映画やドラマのロケ地となった地域を観光資源とし、撮影地の風景や食を堪能してもらう旅行スタイル

**わ行****ワーク・ライフ・バランス (p98, 99, 122, 124)**

働くすべての人が、「仕事」と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった「仕事以外の生活」との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方のこと。

**ワーケーション (p92, 101)**

「ワーク」(仕事)と「ケーション」(休暇)を組み合わせた造語で、会社員などが、休暇などで滞在している観光地や帰省先などで働くこと。仕事と休暇を両立させる働き方

**ワンストップ (p12, 43, 87, 98)**

1つの場所で様々なサービスが受けられること。行政においては、従来サービスによって複数に分かれていた窓口を総合窓口設置により、1箇所で行えるようにすること。

**アルファベット****AI (p28, 30, 45, 46, 48, 91, 92, 94, 99, 121)**

Artificial Intelligence (アーティフィシャル・インテリジェンス)の略で人工知能。人間の言語を理解したり、論理的な推論や経験による学習を行ったりするコンピュータプログラムなど。

**ALT (p129)**

Assistant Language Teacher (アシスタント・ランゲージ・ティーチャー)の略で、外国語授業において、日本人教員の助手としてチームを組み、授業を行う外国人教員のこと。

**AREC・Fiiプラザ (p94)**

エーレック・フィー・プラザ。上田市産学官連携支援施設 (AREC) の管理運営者である（一財）浅間リサーチエクステンションセンターが行う産学・産産連携の促進を図る有料制会員組織。講演会、研究会、技術研修会・セミナー及び情報提供を実施している。

**BCP (p74)**

Business Continuity Plan (ビジネス・コンティニューティ・プラン)の略。大規模災害において施設が被災した場合、優先的に行う業務を定め、限られた職員や資器材で早期に復旧を図るための業務継続計画

**BOD (p54, 80)**

生物化学的酸素要求量。Biochemical Oxygen Demand (バイオケミカル・オキシゲン・デマンド)の略。川などから採水した有機物が好気性微生物により分解される過程で消費される水中の酸素量のこと。河川における有機物による水質汚濁の指標

**COOL CHOICE (p61, 62)**

クール・チョイス。令和12年度に温室効果ガス排出量を平成25年度比で26%削減するという目標達成のため、脱炭素社会づくりに貢献する製品への買換え・サービスの利用・ライフスタイルの選択など、地球温暖化対策に資する「賢い選択」をしていこうという取組

**DX (p29)**

Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション)の略で、ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。

**5G (p48)**

ファイブ・ジー。5th Generation (第5世代移動通信システム)の略で、次世代の通信規格。5Gが普及すれば、様々なモノがネットワークに接続され (IoT)、生活のあらゆるところで通信が行われる。

**GIGASCHOOL構想 (p129)**

Global and Innovation Gateway for All (グローバル・アンド・イノベーション・ゲートウェイ・フォー・オール)の略で、多様な子どもたち一人ひとりの資質・能力が、より一層育成でき、個別最適化された学びを目指すため、1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備する構想

**ICTタグ化 (p135)**

図書データの書き込まれた超小型のICチップを本に貼り、データを機械が読み取ることにより、複数貸出・複数返却の自動処理や図書の管理などの効率化が図られる。

**ICT (p30, 45, 46, 48, 66, 79, 94, 96, 102, 141)**

Information and Communication Technology (インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)の略で、情報通信技術

**ICTツール (p30, 48, 49)**

情報処理又は情報通信を行うための機器や仕組みのこと。ここでは、インターネットを利用したコミュニケーション手段のこと。

**IoT (p28, 31, 46, 91, 92, 94, 99, 121)** .....

Internet of Things (インターネット・オブ・シングス)の略で、「モノのインターネット」と訳される。あらゆる物がインターネットを通し、つながることによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル又はそれを可能とする技術の総称

**JETRO (p94)** .....

日本貿易振興機構。Japan External Trade Organization(ジャパン・エクスターナル・トレード・オーガニゼーション)の略。貿易・投資促進と開発途上国研究を通し、日本企業の海外展開支援、外国企業の日本への誘致などを行う独立行政法人

**LGBT (p38)** .....

L(レズビアン:女性同性愛者)、G(ゲイ:男性同性愛者)、B(バイセクシャル:両性愛者)、T(トランスジェンダー:身体の性と心の性が一致しない人)の頭文字をとった、性的少数者(セクシャルマイノリティ)を表す言葉の一つ

**RPA (p30, 45, 46)** .....

Robotic Process Automation(ロボティック・プロセス・オートメーション)の略で、ロボットによる業務効率化・自動処理化のこと。

**SDGs (p3, 4, 60, 90, 163, 164, 169, 171)** .....

Sustainable Development Goals(サステナブル・ディベロップメント・ゴールズ)の略で、「誰一人取り残さない」を理念に平成27(2015)年9月の国連サミットで採択された令和12(2030)年までの達成を目指す世界共通の目標。17のゴール(目標)から構成

**Society5.0 (p8, 45, 169)** .....

ソサエティ 5.0。国の第5期科学技術基本計画に掲げられている「狩猟社会」(1.0)、「農耕社会」(2.0)、「工業社会」(3.0)、「情報社会」(4.0)に続く「超スマート社会」の実現に向けた一連の取組

**UIターン (p87, 97, 98, 144, 145)** .....

都市部の居住者が地方へ移住する人口還流現象の総称。「Uターン」は都市部への移住者が生まれ育った地域へ再び移住すること、「Iターン」は都市部の居住者が地方へ移住すること、「Jターン」は都市部への移住者が出身地の近隣地域へ再び移住すること。